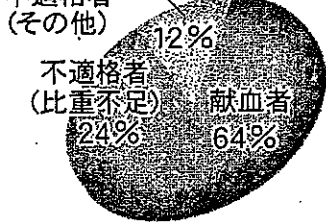


# 献血ルームで栄養相談

■兵庫県の女性献血状況  
(2006年度)



## 貧血で「不適格」の女性急増受け

同センターによると、二〇〇六年度に受け付けた献血希望者は、延べ二十四万三千五百七十四人だったが、そのうち四万九千五百五十七人(20%)が事前検査で不適格となった。不適格の理由では、血液の比重鉄分不足が二万七千七百

## 全国初、あすから神戸で

「ダイエットによる貧血などで献血に『不適格』とされる女性が急増しているのを受けて、兵庫県赤十字血液センターと同県栄養士会とが協力し、管理栄養士による献血希望者のための栄養相談を、JR三ノ宮駅前のミニ神戸15献血ルームで五日から始める。女性の健康改善とともに、輸血用血液不足の解消を目指す」といい、両者のこうした連携は全国で初めて。(今泉欣也)

同センターによると、二十九人上った。これには男女差があり、男性全体の1%が比重不足なのに対し、女性はほぼ四人に一人となる24%。しかも二〇〇年度(14%)から10%も増えた。

なぜ女性の比重不足が多いのか。同センターは「ダイエット志向の高まりや出産後の体形維持などによって貧血気味の女性が増えている」と指摘する。同県栄養士会の仙賀鈴江会長は「食生活など幅広い指導をして、県民の健康増進につなげたい」と話している。同献血ルームは0120・1500・072

栄養相談は、毎週月曜日の午後二時―四時半(祝日と年末年始を除く)に受け付け、希望制で無料。相談時間は一人五―十五分程度の予定。

同センターの藤田嘉秀献血副部長は「兵庫は現在、約二千人分の輸血用血液を他府県に依存しているが、比重不足が改善されれば、『自給』できる」と期待する。また、同県栄養士会の仙賀鈴江会長は「食生活など幅広い指導をして、県民の健康増進につなげたい」と話している。同献血ルームは0120・1500・072

